

単元名 映画作りへの道(70時間)

学びのストーリー(単元の流れ)

授業デザイン

評価規準/評価方法

1次 総合のテーマ・ゴールを決めたい!

- ◎総合の学び方を学ぶ
 - ・総合の学習は自分たちがやりたいことをかなえる力をつける学習なんだね。
 - ・「話題になる映画を作って、みんな(全校・保護者・地域)に楽しんでもらう。」をゴールの姿にしよう。
 - ・ゴールは決まったけど、何をどの順にすれば達成できるのかな?

ゴールに向けて何をどんな順番にしたらいいかな?

- ◎ゴールまでの活動の道筋をつける
 - ・シナリオセンターという会社が無料で教えてくれるみたいだよ。
 - ・編集と告知は役割分担をして同時に行うのがよさそうだね。
 - ・まずは、映画をどのように作ればよいか、調べてみよう!

2次 映画の作り方を調べたい!

- ◎行動を起こすために必要な情報を集める
 - ・役割は、カメラマンや編集者、音響・・・たくさんの役割があるんだね。
 - ・撮影の仕方や編集の仕方、シナリオは難しい言葉ばかりでよく分からないな・・・。プロに聞けばいいんじゃないかな?

プロはどのように映画を作っているのかな?

- ◎自分たちの調べでは難しいという困り感をもとにプロにアドバイスをもらう
 - ・映画作りには伝えたいテーマを明確にすること、登場人物が困ることを意識するとおもしろいシナリオが書けるんだね。
 - ・実際にシナリオを書いてみて、柱やト書、セリフをどのように書けばよいか分かったよ。次は実際にシナリオを書いてみよう!

役割分担してシナリオが書きたい!

- ◎プロからの学びを生かして実際に活動する
 - ・初め・中1・中2・終わりに分けて、リレー形式で書こう。
 - ・グループごとに完成して繋げたけれど、少し違和感やもっとこうした方がよいところがあるね。確認して修正しよう!

シナリオを修正して、完成させたい!

- ◎撮影前に自分たちのシナリオを見つめなおす
 - ・初め・中1・中2・終わりで話がずれてしまっているね。
 - ・困っていることがより伝わるようにセリフを変更してみよう。
 - ・シナリオが完成したから撮影・編集を頑張ろう!

撮影・編集して映画を完成させたい!

- ◎自分の役割に責任を持ち、分担して活動する
 - ・動画は共有ドライブに置いて全員が確認できるようにしよう。
 - ・自分たちの学びを多くの人に知ってもらいたいな。

発表準備がしたい!

- ◎個別最適な学び(思いを実現するために手段を選択して取り組む)
 - ・ポスターを作って桜井小学校区に貼ろう!交渉も必要だね。
 - ・活動してきた足跡をスライドにまとめるよ!
 - ・ポスターをさくら連絡網で保護者の人に渡すのもいいね。
 - ・いよいよ、発表だ!本番頑張ろう!

3次 自分たちの作った映画を見てもらいたい!

- ◎学習の成果を伝える
 - ・大変だったけれど、大勢の人に楽しんでもらえてよかったよ。
 - ・映画作りで成長を実感したよ。1年間の学びを整理したいな。

1年の学びを振り返ろう!

- ◎探究的な学びを通して身についた力を実感する
 - ・伝えたい相手意識をもって活動することが大切だと感じたよ。
 - ・完成できるか不安だったけれど、探究的に学習してゴールを達成できたね!

響き合う
自分たちのやりたい活動ごとに、どんな力がつくのか、どんな探究活動ができそうかなど、プランを練り、納得してもらえるようにプレゼンをする。

手立てや概念
Googleスライドを活用させることで、写真や図、表など、聞き手が興味を持ち納得できるプレゼンができるようにする。

高め合う
なぜこの順番で行うのか根拠を大切に話し合い、納得・質問・意見の変更しながら、学習計画を立てていく。

手立てや概念
視覚的に計画を比較できるように、カードを張り付け、順番を入れ替えながら操作できるようにする。

自己調整
活動を始めるために何が必要か、何に取り組めばよいのかなど、自分で調べたいことを決めて追究していく。

手立てや概念
教師が紹介するのではなく、子どもたち自身で教えていただくプロを見つけて、アポを取ったと実感できるように検索キーワードの提示など、ヒントを散りばめていく。

響き合う
少人数のグループで積極的にアイデアを出し合い、自分たちの担当するシナリオを作り上げる。

手立てや概念
グループごとに話がずれないように、企画段階で話の展開、登場人物の設定など全体で共通認識をもって取り組めるようにする。

高め合う
完成したシナリオを多様な視点で見直し、様々な意見を受け止めながら納得のいくシナリオを目指して話し合いをしていく。

手立てや概念
フォームを活用し、シナリオへの感想を集約し、一覧で見られるようにする。また共同編集を活用し全員で確認・修正を行えるようにする。

自己調整
自分たちで立てた撮影スケジュールをもとに、隙間時間を活用して演技の練習や小道具づくりなど、逆算して行っていく。

自己調整
取り組みたい内容について学習ツールを決め、追究していく。

手立てや概念
個別での学習となる場面が多くなるが、全体での共有を大切にお互いにアドバイスし合えるようにする。

自己調整
1年間の学びを振り返り、自分にはどんな力がついたかメタ認知し、価値を実感できるようにする。

【思考・判断・表現】
ゴールに辿り着くために集めた情報を複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら取り組むことを決めている。

【知識・技能】
映画を作るために必要な情報を自分なりの方法で調べている。

【学びに向かう力・人間性】
得た知識や技能を生かしながら、友達と協力して映画作りの問題を改善しようとしている。

【思考・判断・表現】
完成したシナリオを多様な視点で見つめ直し、自分の考えを伝えている。

【思考・判断・表現】
伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、ポスター・プレゼンテーション・映像等を通して表現している。

【知識・技能】
映画作りに向けて1つずつ問題を解決してきたことや上映当日の感動は探究的に学習してきた成果であることに気付いている。

【学びに向かう力・人間性】
探究的な学習の過程を振り返り、これからの生活に活かそうとしている。

願う子どもの姿

- ・自分たちで決めたゴールにたどり着くために、何をどの順番で行えばよいか道筋を立てて取り組むとともに、必要に応じて修正していく姿。
- ・全員でゴールに向かって活動することにこだわり、互いの意見を尊重しながら進める姿。
- ・探究的な学習の良さに気づき、今後の生活に活かしていこうとする姿。